

大崎市協働のまちづくり
条例策定委員会



委員長 あべ まさよし
阿部 雅良 さん

委員長として策定にかかわり、市民と行政が一体となって作った条例だと誇りに思います。
市民の皆さんの声を聴き、議論を重ねた内容になっています。地域が笑顔であふれる社会になってほしいですね。

NPO法人おおさき
地域創造研究会



事務局長 こだま じゅんこ
小玉 順子 さん

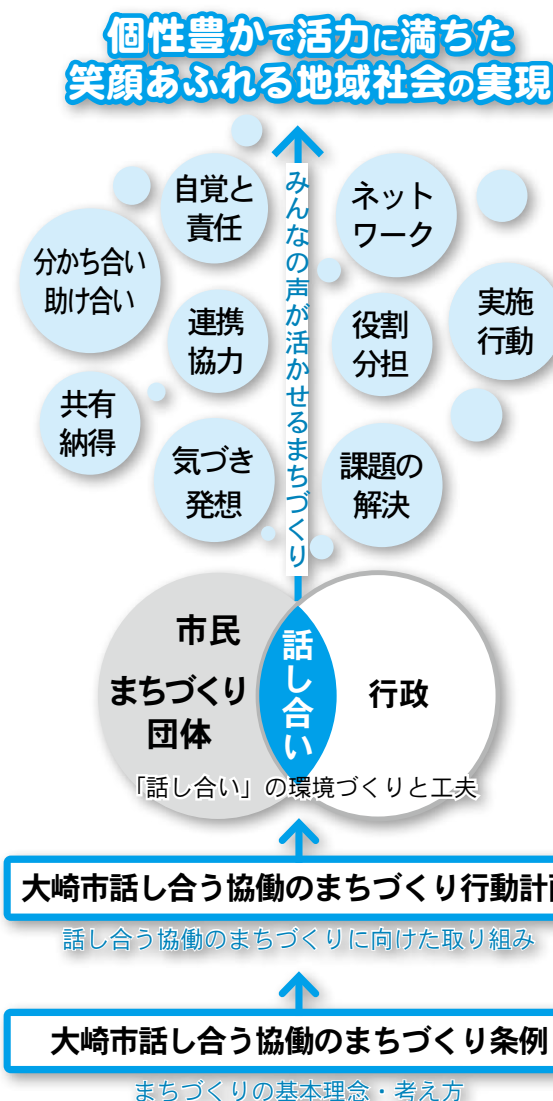
条例を策定する過程の中で大崎市の民度の高さを実感しました。
条例を使うことで、これまで発言する機会が少なかった若者や女性の意見をうまくまちづくりに活用できたらいいですね。

宮城大学事業構想学部



3年生 あしかが ふみか
足利 文香 さん

私は地元の若者が地域活性化で活躍できる場づくりをするNPO法人「Avain」に参加しています。
若者と地域をつなぎ、若者の意見を積極的に取り入れる場づくりを一緒に考えていきたいです！



大崎市話し合う 協働のまちづくり条例【前文】

まちはみんなでつくるもの。

私たちは、より住みよい暮らしを実現するため、話し合いを大切にした協働のまちづくりを進めます。

暮らしの中にある悩みや不安、喜びや楽しみを分かち合い、互いを尊重し、助け合いながら、地域の抱える課題を解決していきます。

そのために、市民も行政も、みんなが主体となって、対等な関係で話し合いを行います。

話し合うことによって、想いや考えが伝わり、人と人とのつながりが生まれます。

そして、一人では思いつかなかった新しい気づきや発想が生まれます。

そう、話し合いの過程が人をはぐくみ、まちをつくるのです。

話し合いの文化を根づかせていくことが、私たちの目指す協働のまちづくりの姿です。

そんなみんなの声が活かせるまちをつくるため、この条例を制定します。

大崎市話し合う協働のまちづくり条例に関する情報は、市ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.city.osaki.miyagi.jp/annai/shiyakusho/torikumi/19.html>

「大崎市話し合う協働のまちづくり条例」は、市が合併以来進めてきた「市民が主役協働のまちづくり」の実践を踏まえ、協働のまちづくりの基本的な考え方を定めています。

今後の方向性を明らかにし、より一層、市民と行政との協働を進めるために制定したもので、本年4月1日から施行しました。

問 まちづくり推進課
地域自治・NPO担当 ☎23-5069

話し合いを大切に まちづくりを進めていくことを約束

この条例の特徴は、市民生活に根差した身近な条例として、話し合いを大切にした協働のまちづくりの姿を定めている点です。市民と行政が互いに知恵や情報を出し合い、ともに考え、話し合いながら、まちづくりを進めていくことを約束しています。

お互いが解決しなければならぬ地域課題が何であるかを明らかにしながら、それぞれ役割を果たし、個性豊かで活力に満ちた笑顔あふれる地域社会の実現を目的としています。

条例がでるまで

条例の制定に当たっては「大崎市協働のまちづくり条例制定に関するパートナーシップ会議」をはじめ「大崎市協働のまちづくり条例策定委員会」で、これまでのまちづくりの分析・検証を行いました。その検討経過を各地域にも伝え情報共有したほか「協働のまち

づくりフォーラム」を開催して、より多くの人に、この条例に盛り込む内容を話し合ってもらいながら、多くの人や団体が策定過程に参加できる工夫をしました。

話し合いの大切さ

「話し合い」は、すでに決まっていることを一方的に説明するあるいは押しつけることではありません。互いの立場の違いを尊重し、「一緒に考えていこう」という姿勢を大切にしながら思いを共有し、そこに隠れている課題は何か、解決していくためにはどのような手法があるかなどを明らかにしていきます。その過程の中で、さまざまな「気づき」や「発想」があり、話し合いの過程を共有し納得する中で、分かち合いや助け合いの気持ちが生まれ、自分の役割や責任が明確になり、連携・協力する相手はだれ（どこ）なのかなど、課題解決に向けた行動の仕

方が明らかになってきます。これまでの地域づくりにおいても、話し合いを大切に始めてきた活動が、成果を挙げています。

一例として、古川まちづくり協議会以下、〇〇まち協と表記の「軽トラ我楽多市場」「松山まち協の「健診受診率向上」「二本木まち協の「さんぽんぎねつと発行」「鹿島台まち協の「鹿島台地域フラワーデー」、岩出山まち協の「年度行事カレンダー」発行、「池月地域づくり委員会」の「組織見直し検討会」、鳴子まち協の「計報周知事業」、田尻地域大貫かんぼやま委員会の「お祭りワークショップ」などが挙げられます。

実効性のある条例にするための 行動計画を策定

条例は、12の条文により、話し合いを基本とした協働のまちづくりを進めるための考え方に定めています。絵に描いた餅にならないよう、条例内容の実現

に向けた手段や手法についてまとめた「大崎市話し合う協働のまちづくり行動計画」を策定し、この計画に基づいた実効性あるものにしていきます。